

事業所名		江東区こども発達センター			公表日		2025年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に必要な道具（教具、記録用紙等）が整えられていますか。	4	3	自主的に必要な道具を選定・準備している。 道具の整備状況に現場で差がある。 消耗品の支給を検討。	現場に必要な道具や物品については、CoCoにあるものを活用する。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	6	手続き変更により児童発達支援管理責任者の負担が増えている。 保護者の希望に応えられているか不安がある。	利用希望者と人員、スケジュールの調整。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	参画度に差がある。 責任者の負担が大きく、時間確保が困難。 公式な会議の機会が不足している。	定期的な確認の機会を設ける。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	保護者向け評価表の存在を知らない職員がいる。 支援員と保護者との直接的な意向把握の機会がもっとあるとよい。	職員（常勤・非常勤）に「保育所等訪問支援ガイドライン」の回覧を行っている。改めて、周知を徹底する。		
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	限られた時間の中で意見共有や聞き取りを実施している。 ミーティング時間の確保が必要。 定期的な会議や学習会があるとよい。 常勤職員からの振り返りや助言の機会がもっとあるとよい。	現在、月1回定例に集まる機会を設けているが、機会の設け方の再検討が必要。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	外部評価の存在や内容について職員間で認識の差がある。 非常勤職員への評価結果の共有が十分でない。	今後、保育所等訪問支援も含めた外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげる。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	個人で参加している。 研修に参加する自己研鑽の姿勢がある。機会が十分に提供されるとよい。	研修の充実を図る。		
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	1	訪問前に保護者や在籍先から子どもの情報収集を行っている。 保護者とのニーズ把握のための電話連絡を実施している。 働く保護者の情報収集に時間的制約がある。 児童発達支援・相談利用児について、その担当者との直接のやりとりが少ない。	普段の支援担当者との情報交換の仕方を検討する。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	児童発達支援管理責任者や担当職員との共通理解を図った計画作成を行う。 非常勤職員間での日常的な事例検討と情報共有を行う。 日常業務以外の定期的なケース検討会が必要。	ケース検討会の設定を行う。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7	0	訪問実施前に訪問先機関の先生と打ち合わせを行い、お子さんの様子や意向を伺いながら支援計画を作成する。 事前打ち合わせは、連携に有効であり支援ポイントが事前に明らかになるので良い。 担任等と相談する時間の確保できず、担任等の意向を十分に盛り込むことは難しいこともある。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	指導担当者と支援の方向性を確認している。 担当者は計画に沿った支援を意識している。 児童発達支援や相談の担当職員との共有できるようにする。	定期的に報告の機会を設ける。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	行動観察を通してアセスメントをする。 ぜひ、活用してほしい。	フォーマル、インフォーマルなアセスメントの充実をはかる。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」（こども本人に対する支援・訪問先施設の職員に対する支援・家族に対する支援）も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	声掛けや関わり方の方法など、具体的な支援内容を記載している。 訪問前の情報が限られている。 保護者や訪問先機関への事前のアセスメントをし、具体的な支援内容をイメージしながら設定し、実際の支援後は修正を加えながら支援内容を決定するようにしている。	随時、保育所等訪問支援ガイドラインを確認し、具体的な支援内容を検討していく。		
	14	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、これから行われる支援の内容等について確認して支援を行っているか。	5	2	初回訪問をする際は、児童発達支援管理責任者と打ち合わせを行い、訪問に臨む。 職員間での確認を十分に行えるようにする。	引き続き、職員間で確認を十分に行い支援を行う。		
	15	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、実施された支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	4	3	合間に可能な範囲で意見の交換など、話し合いを行う。 月1回振り返りの場を設ける。保育所等訪問支援担当職員間で、こまめに様子や気づいた点など共有する。その他、合間の時間に支援員同士で振り返りや情報交換をする。	引き続き、月1回の職員間の振り返りの場を設ける。その他、ツールを活用し、職員間の共有をはかる。		
16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や保育指導方針等を尊重して支援を行っているか。	7	0	ホームページ等で、理念や指導方針について把握してから訪問に臨む。 保育所等訪問支援を行う第一歩として訪問先の理念や保育指針は大切にしている。 先方の立場を尊重し必要かつ受け入れていただけるような内容は、伝えられるよう努力している。				

	17	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援に活かせるような記録票作りを心掛ける。訪問支援は、訪問時間の様子以外は見ることができないので、より具体的に見たままにお伝えすることを心がけている。	
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	訪問時の訪問先との話し合い、訪問前後の保護者との電話連絡により、対象児の実情や訪問先、保護者の意向を的確にとらえ、見直しを心がけている。タイミングよくできているかどうか不安は残る。	職員間で話し合い、保育所等訪問支援計画の見直しを検討する。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	この業務に関わったことがないので、わからない。	園管理者や児童発達支援管理責任者、担当職員を中心に、サービス担当者会議や関係機関の会議に参加し、支援の充実を図る。
	20	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制（報告書、情報提供書、ケース会議等）を整えているか。	7	0	訪問支援記録票を作成し、お子さんの在籍先にお渡しする。	
	21	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	就学相談の資料として、訪問支援記録票を提出されたご家庭があった。	
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	3	できる限り、施設内の専門の職員で話し合いを行っている。 自発的に外部研修に参加する。 そのような機会があればいいなと思うときもある。	研修の充実を図る。
	23	事業所は自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加し、情報共有をしているか。	6	1		CoCo内での周知の工夫を行う。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	訪問支援記録票の送付や電話連絡で情報共有している。 保護者と直接会える機会に子どもの良い点や支援点を伝えている。情報共有の深さに制約がある。 可能な限り日常的に情報交換を行っている。 訪問実施回数の少なさから保護者の理解が得にくい可能性がある。	すぐーの活用。きめ細やかな連絡を行う。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる機械や情報提供等を行っているか。	4	3	特に行っていない。 児童発達支援のクラスともう少し連絡を密にして、家族の対応力を把握し、家族支援をより進める必要があると感じている。	保護者のニーズに合わせ、児童発達支援や相談事業とともに家族への支援を行う。
保護者等への説明等	26	運営規程、重要事項説明、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	児童発達支援管理責任者より、丁寧に説明している。	
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7	0	事前に訪問先機関と打合せの機会を設けてもらい、丁寧に説明している。 初回に関しては施設長だけでなく担任している職員にも保育所等訪問支援の主旨や目的を理解していただくようなアプローチをしている。	
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	支援計画作成後、保護者に確認していただいている。 事前の聞き取りをしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	1	支援計画作成後、保護者に確認していただいている。 やり方を整理したい。	保護者、訪問先施設とともに保育所等訪問支援計画の作成を行う。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	訪問前に保護者の方からお子さんの最近の様子を伺い、必要に応じて助言をすることがある。 もう少し面談の機会を設けて、お話を伺いたい。 具体的にすることを心がけている。 訪問の実施で精一杯で、十分なご家族とお話の時間が取れていない。	保護者が相談できるしくみの周知を行う。
	31	父母会の活動の支援や、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流の場が設けられる等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する企画を設ける等の支援をしているか。	5	2	児発では行っているが、保育所等訪問支援だけでは機会はない。	児童発達支援とともに、父母会や交流会などの機会を設ける。
	32	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者の方から問い合わせがあった際には、対応している。 具体的な相談や申し出があった際には、常勤職員に速やかに伝えている。	
	33	定期的に通信やホームページ、情報連絡システム（すぐー）で、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1		ホームページ、すぐーを活用し、内外に情報を発信する。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	訪問時に持参する資料は、名前や園名がわからないようにしている。 個人情報が流出しないよう留意する。 個人情報の管理を徹底したい。	
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7	0	先生方のお話を伺い、園の中でできそうな関わり方や対応について考えるように努めている。 支援員で対応できるものは真摯に答え、それ以上のものは持ち帰って伝えて、できるだけ解決するようにしている。	

訪問先施設への説明等	37	保育所等訪問支援の実施時、または後に訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7	0	訪問時には必ず、訪問先の先生方と情報共有や支援について話している。 訪問日の日程調整を行う書類に、カンファレンスのお願いを明記している。 保育に支障がないことを前提としているため時間配分がうまくいかない時もある。別途、話し合いをする機会を設けるようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	2	時間的に間隔があいてしまうことがある。時間を充分にとる必要が方が多く、時間の確保が必要。 訪問記録票だけでは十分に共有できないので、電話で補足している。 訪問記録票を作成し、支援内容について共有をしている。	タイムリーに共有ができるしくみを再検討する。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の管理を徹底したい。	
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7	0	訪問先の体制を踏まえて助言を行うようにしている。 保育所等訪問支援は、保護者の希望により行う事業ですが訪問先施設との信頼関係を構築するのが、その後の当該のお子さんの保育の質を高めることにもつながっていくと思われ、助言が専門的かどうかはわからないが、訪問先施設の実情を鑑みた上での具体的な助言を心がけている。また、訪問先施設の職員の方々の労をねぎらい、精神的な安定を得ていただくのも必要かと思いつながりながら接している。	
非常時等の対応	41	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアル等が策定され、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	訓練を実施したことはわからない。 基本的な感染症対策は怠らずに行っている。	訪問先施設での緊急事態では、訪問先の対応に準じる。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		訪問先施設での緊急事態では、訪問先の対応に準じる。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		他の事業とともに、ヒヤリハットの共有を行っている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	児発とともに行う。 適切な対応をしていると思いますが、具体的な部分についてはわからない。	CoCo全体で、虐待防止に向けての取り組みを行う。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保育所等訪問支援計画に記載しているか。	3	4	この点については、よくわかっていない。 身体的拘束を行ったことはない。	